

平成 22 年度 水道モニター最終レポート

～水道事業に対する提言～

平成 22 年度は、水道モニターから計 3 回の施設見学会・研修会に参加していただいた後、「水道事業に対する提言」を考えていただき、最終回の意見交換会でグループごとに発表し合いました。

この最終レポートは、モニターが書いた提言内容と、意見交換会で発表した内容を合わせて取りまとめ、言い回し等を若干編集・修正したものです。

また、一人ひとりのレポートを分割し、内容別に分類してあります。

平成 23 年 2 月

目的	手段	意見
おいしい水	施設整備	<p>毎回水道事業に対する貴重な資料を配布していただき、大変興味深く勉強になりました。</p> <p>前回、信濃川浄水場を見学し、高度浄水処理施設で生物活性炭処理を県内で初めて採用とのことですが、市内各地にある他の浄水場にも、順次長期プランの中で採用されれば良いと思います。</p> <p>以前、テレビで県外(西日本)の浄水場の特集をしており、その施設も高度浄水処理(詳細は覚えておらずすみません)をしており、現段階では生物活性炭処理以外の浄水処理方法があるのかどうなのか(コストは別として)興味を持ちました。</p>
		<p>水道事業の見学や説明を聞いた中で、「水都にいがた」という新潟として、おいしい食べ物とともにおいしい水の提供にがんばってほしい。</p>
河川の浄化 (清浄な水源確保)	下水道利用の促進	<p>今までのレポートにもありましたが、下水道工事に参加しない方または居宅に対しては、市との協定を策定し100%工事完成させることを希望します。排水が流出すればその悪い環境が浄化されるには、多くの清水が必要と思われます。(なお、新築工事等では、排水工事も基準に沿って完成させていると思います。)</p> <p>下水道につなげていない家庭をゼロにする方策を考えたい。</p>
		<p>元になる河川をきれいにする意識を高めることが大切かと思う。そのためには、モニター活動制度や施設見学(市政教室・町内会など)・広報紙などをもっと活用すべきである。</p> <p>河川を汚す90%を占める生活排水の浄化協力(下水道接続工事を含め)を広く強力に推進してほしいと思います。河川が浄化されれば、浄水設備等にかかる費用等も軽減され、水道料金も安くなるのではないかと。河川浄化運動を市および県民運動としていければすばらしいと思います。</p> <p>汚れた排水はできるだけ出さない工夫が必要である。それが最終的には安心な飲み物になると実感したので、生活排水が川の水を汚し、それが水道料金に影響することをわかってもらえるようにPRしたらどうか。</p> <p>安心安全のうえにおいしい水を求めるのは欲張りかもしれないが、薬品だけに頼らずきれいな川を取り戻す活動にも力を入れていかねばならないと思う。</p>
	広報・広聴	<p>新潟市が信濃川・阿賀野川の下流にあるのは仕方がない。だから私たちがこれからもそれなりの美味しい水を使い続けるには、「水を汚さない暮らし」をすることだと思う。そのためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①台所の排水溝には細かい目の網をつける ②風呂の排水溝に髪が流れないようにミカンネット等の網をつける ③もちろん廃油は新聞・古布にしみ込ませる ④米のとぎ汁は植木または庭木にまく ⑤味噌汁や煮物を作りすぎない ⑥フライパンは紙・布で拭いてから洗う。 <p>などを市民が実践できる仕組みを作る。(私はこれをしています。)そのお知らせを、何回も何回も町内回覧板を通して知らせる。</p>
		<p>安全な水を供給するためには、川から水を取ってから色々な工程を経ていることがわかりました。その工程が簡単になれば、自然と料金にも反映されると思いますので、まず第1歩として、川を汚さないこと・余計なものを流さないことを心掛けたいと思います。</p> <p>古くなった油は古紙に吸わせて燃やすゴミにしていますが、ラーメンスープとかシーチキン缶の油とか、その都度処理に迷ってしまいます。流さない方が良いものとして処理方法を含めたガイドを出していただけると助かります。</p>

河川の浄化 (清浄な水源確保)	広報・広聴	水を大事に、水源をきれいになどのPRも必要
		水は有限なもの、新潟が最下流の地であることは仕方が無いが、一般市民がどのようにしたら水を汚さないで使えるか、各家庭で出来ることを紹介することで浄水処理にも経費がかからないようになるのではないかと。
		下水道のパフレットを拝見しましたが、私たちが生活していく上で使う水道水も大切ですが、使った後の下水道が環境にも影響し、次世代にも通じるので、もっと、今以上に下水道情報を広げてほしいと思います。
		水道を使用し排水する我々市民側も、家庭排水において「残油等は新聞紙等に浸すなど可能な限り油分を流さない」「風呂の残り湯を使い洗剤使用料(界面活性剤)を減らす」等努めたい。
水質管理	新潟市は大河の末端に位置している。常に安心安全な水を得るには、水道原水である河川の水質状況に気を配らなければならない。現状は問題ない原水水質とのことだが、通常より水質レベルが下がってきた場合は、上流河川の市町村にも即座に状況を伝え、流域全体で水質の低下防止を行っていただきたいと思っています。	
	調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ①雨が降って川に流れる。そこから水道を引く。汚染物を避けるには、雨水を貯蔵し過るのが最良なのではないか。 ②汚染物は水に分解しない物質ですから、メーカーに働きかけて自然界にかえることのできる物質を開発してもらおう。 ③家庭の油等の汚染物の処理を研究して指導する。
経営の効率化と 新たな事業展開	効率的な経営	水道局も下水道関係者も効率的な仕事をしてほしいし、不要な会議室などは作らないことです。
		水道だけでなく、市役所全体を通して効率的な経営に努めてほしい。(箱ものはいらぬ)
		景気の低迷・エコにより今後は水道使用量の減少で将来水道水の原価が上がっていくことが予想されます。しかし、皆さんの知恵と工夫でさらにコストダウンを図り、水道単価が17市中で3番であることに安住しないで、ぜひ1番になっていただきたいと思っています。
		私たちの生活に欠かせない水。安心していつでも必要なだけ水を使える今の生活は、水道に携わる方々のお陰で成り立っています。お金に余裕のある人もない人も絶対に必要とする水道の料金が安くなるように希望します。
	上水道と下水道は連携することが多いので、横の連絡を取って進めていくべき。(上水道の工事の後、下水道が同じ場所を工事するといった事例もあった。)	
新たな事業展開	水道使用量増に向けて新しい取り組みをしてはどうか。	
	現在は水道メーター検針員の方が各家庭を回っているようですが、その人件費も相当必要と思われる。電話回線等を利用して自動的に使用量データが送信されるシステムは考えられないのでしょうか。(冬場大雪時などでは使用量確定は相当困難があるのではないのでしょうか。そのような問題点を解決する上でもシステム設定費用とも比較して検討してみたいか。)	

水道事業の啓発	P R	<p>水に恵まれすぎている新潟市民一人ひとりに「安心でおいしくしかも安い」水道のことをアピールし、意識を高めてもらう工夫をしてほしい。</p>
		<p>新潟は水の都と言われるほど水に恵まれているという背景(地理的・歴史的にも)なども含めた新潟の水道水の成り立ちや、水道水の安全性・衛生面・製造工程などを市民にPRしたらどうか。 そして、安全な水道水を供給するために市民の協力も必要だと思う。水の節約・エコ活動・地域でどう取り組むべきか話し合いをするなどして、市民がもっと協力すべきである。</p>
		<p>水を商品としてもっと市のイベントでPRしてほしい。</p>
		<p>モニターを通して、水道事業の概要がつかめた。また、たくさんの資料よりも実際に見ること、体験することの大切さを改めて感じた。水道週間・水先案内やパンフレットもよいが、日常のPR(検針票への一口メモ・イベント等での水道水のPRなど)がもっとできないか。紙面では伝えられないものを、どう身近なものとして伝えていくかが今後の課題だと思う。</p>
		<p>応募されたモニターの方は水道事業に相当関心のある方が多いかと思う。もっともっと多くの市民から率直な意見・感想を広く吸い上げるために ①モニターの方が自分のまわり・知人の意見を集める ②検針員の方をお願いしてアンケート用紙を配布し、回収する。 ③インターネットでも広報活動を行う。 などを考えてみてはいかがでしょう。</p>
		<p>広報紙「水先案内」のPRや事業報告などは、なかなか正しい知識が記憶にとどまらない気がします。他市町村などは、どのように広報しているのでしょうか。面白いものを参考にするなど素晴らしい水道局の事業を効果的にアピールしてほしいです。</p>
		<p>せっかく安全・安心・安い水道を提供しているのに、PR不足により市民一人ひとりの意識が低い。</p>
		<p>日々、市民から寄せられる苦情・意見は個々に説明されているようであるが、同じ内容が多いと思う。広報紙「水先案内」などを利用して広く市民に紹介した方がよい。</p>
		<p>広報の果たす役割も大きいと思います。インターネットの情報もありますが、やはり紙面の果たす役割も大きく、多少お金もかかるかと思いますが、カラー印刷も多くて目をひく読物にしてほしいです。 地域の皆さんが一面で紹介されていますが、もっともっと紹介したり、身近な人・町内・子供たちを広報に取り上げて、興味のある紙面にしてもよいと思います。</p>
		<p>水先案内</p>
<p>水道料金の試算について、「水先案内」に載せてほしい。</p>		
<p>水先案内は町内の回覧板などを活用し、繰り返し目にしてもらう方法も良いのではないかと。</p>		
<p>水先案内を開いて見てもらう工夫が必要。</p>		

水道事業の啓発	モニター活動	<p>私の水道事業に対する提言は、「水道モニターの活動をもっと活発にした方がいいのではないか」ということです。</p> <p>私がこの水道モニターへ応募したきっかけは、子供が生まれて一児の母として、子供が口にする水道水の安全性を確かめてみたいという気持ちからでした。実際、職員の方々のお話や施設を見学して、水道水の安全性や本当にキレイにしていることが分かって安心しましたし、水は大切に使うなければいけない、汚したりムダ使いしてはいけないんだということも改めて思いました。</p> <p>こう思えたのもモニターに参加したからであって、参加する人が増えれば同じように考えてくれる人が多くなるのではと思ったからです。同じモニターの方で何度か応募してやっとモニターになったという方もいらっしゃいました。参加したいと思う人が、なるべく多く活動できる場があるといいと思いました。</p> <p>具体的には、モニターの人数を増やす、1年を2期にわたる(活動を1ヶ月1回にしたり)などはいかがでしょうか。</p>
		モニター活動の回数を増やしたり、人数を増やすべき。
	水道週間	<p>今までのレポートにあった「水道フェスタで参加者に配るキーホルダーなどを作る際に福祉と連携したらどうか」という意見に賛成で、ティッシュや揚げ油(廃油吸収剤)などにPR用紙を添付し(添付作業を福祉に委託)配布したら、実用的で良いと思います。</p>
	ポトルドウォーター	<p>市販されているミネラルウォーターと、新潟市の水道水がほとんど変わりがないことを知って、今後はミネラルウォーターを買ってまで飲むことは控えようと思った人がいたが、一番の水道水のPRだと思う。</p>
		<p>柳都物語は90円で販売されているが、あまり目に付く場所にはない。もっとPRしないと売れない。市販のポトルドウォーターは2ℓで100円程度のももある。柳都物語の販売価格が90円となると値段的にはどうなのか。</p> <p>新潟駅の辺りは人の往来も多いので、そのような場所で新潟のおいしい水として柳都物語を販売する場所があれば良いのではないかと。</p>
	施設見学	<p>市政教室のコースにももっと回数を多く取り入れてください。文化施設もよいですが、自分の暮らす市の水・環境に関する見学を市がもっと力を入れて、単なる遊び見学より市民の関心を行政や生活・環境に向けての参加の場に活用してもよいと思います。</p>
	<p>新潟の水道水は、安全でおいしく不安も不満ありません。それというのも大勢の職員の方と立派な施設があるからだだと思います。それを大勢の一般の方々にも水道週間の時だけでなく開放してもらえればとも考えました。</p>	
	<p>浄水場や下水処理場等の見学に、親子ペア・成人式ペア・夫婦ペア・通勤族へ招待状を送ってくださるなど、個人個人にアピールしてみてもいいでしょう。楽しい見学を希望します。</p>	
	<p>私の子供は今年小学4年で水道の学習をし、ちょうどモニターで見学したのと同じ施設を学校の授業で見学していました。「今日、この施設に行ったよ。」などと親と子で同じものを見られたことで共通の話題ができました。いっそ、学校の見学に保護者も参加可能になれば親子で学べる良い機会だと思います。(各学校のバスの手配など、課題はあると思いますが)</p>	

水道事業の啓発	施設見学	<p>施設見学会や研修会に参加させて頂き、「水道水の安全」のしくみ・「水道料金」のしくみなどいろいろな事を知ることができました。 今までのレポートにもありましたが、浄水場の一般開放が年1回ではなく、もう少し回数が増えると良いと思いました。小学生が見学に行く時に保護者も一緒に見学できれば、親子で楽しみながら水道水について勉強できて良いと思いました。</p>
		<p>全市の小中学生の見学と実習を実習科目に入れてもらうこと。(3年に1度は参加義務など)</p>
		<p>子どもの頃からの水道に対する教育が必要。全小学校が漏れなく施設見学するよう、水道局の方から学校等へ働きかけてほしい。</p>
	施設整備	<p>ドライミストが山梨のSAにあったとのことだが、平成22年の猛暑の中、打ち水的な効果があったと思われる。大気も涼しく気温も下がり、「水道水の水」がアピールできたと思う。</p> <p>新潟市内の公園やコミュニティセンター等にはたくさん水飲み場がありますが、JRの駅には飲料水コーナーがないような気がします。(自販機が設置されている)水道水の普及と水道水のPRに飲料水コーナーを設置してはどうでしょうか。</p> <p>水道モニターになっているいろいろな場所を見学したり、お話を聞いたりして水は近代的工場で作られる安全な水であると認識しました。そのおかげで大流行する赤痢や疫痢などという感染症がなくなったのだと思いました。 この安全でおいしい水をもっと市民にPRすべく、おいしい温度の水を市役所や支所・コミュニティセンターや公民館で飲めるようにしていただけないでしょうか。</p> <p>都市化が進み、公共の水飲み場が減ったように感じる。公園の水飲み場が減ったように感じる。公園の水飲み場などを増やした方が良いのではないかと。</p>
災害対策	下水道の整備促進	<p>近年、地球温暖化による気象変化によるゲリラ豪雨も起こっており、大雨による被害も増えています。今後、確実に増えるだろう雨水被害・雨水幹線対策を継続して早急に望みます。</p>
	広報・広聴	<p>他県に比べ新潟は天災が多い気がします。貴局から災害対策用に1人あたり3ℓ、2日分で6ℓの水の保存を実行するように、「水先案内」等を通じて強力にPRするよう希望します。</p>
		<p>地震・災害時などの緊急時の水道の取扱いをもっと日常より周知してほしい。</p> <p>異常時・災害時の対応について、現在の状態や復旧への取り組みなどをPRしてほしい。</p>
施設整備	<p>緊急給水センターが2か所となっているが、もっと小さい規模のものでよいので数を増やせないか。緊急時には間に合わないことが懸念される。</p>	
下水道事業の啓発	広報・広聴	<p>下水道について</p> <p>①水道も下水道も市民は同じことだと思っているので、水道料金と下水道料金の徴収を切り離すことはできないか。</p> <p>②下水道や下水道料金についてのお話も聞いてみたい。</p> <p>③下水道料金が高い理由について、市民に知らせていくべきである。なぜ料金が高いのか説明がほしい。また、下水道排除量の説明はわかりにくいので、もう少し詳しく知りたい。</p> <p>④下水道を引いていない家を少なくすることが必要である。</p>

下水道事業の啓発 料金徴収方法の変更	広報・広聴	散水などに水道水を使うともったいないので、雨水を溜めるような装置があると良い。また、すでにそのような装置があるのなら、広くお知らせしてほしい。
		他の方のレポートを読ませていただいて水道料金のことが多く書かれています。特に下水道料金が高いのではないかと、なぜ下水道料金と上水道料金をまとめて納入するのか等々。 そこで提言です。料金徴収を上水道と下水道にわけを行い、下水道使用料を調べる方法を考える。(現在のように一緒に徴収しているため高いと感じている方がおありのことと思います。)さらに料金割引制度を導入する。
		経費削減からは逆行するが、上下水道料金を別々にできないか。内訳を明確にできないか。
		上水道と下水道の料金を同時徴収しているが、内訳がわかりにくい。